

事業実績書

事業名	ぬまづろう乳幼児支援事業の実施に向けた研修活動	
場所	沼津市	
期間	令和2年6月6日～令和3年2月6日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p>	
	6月18日	会議サンウェルぬまづ 12人 研修の内容方法、年間計画の検討・協議
	20日	会議サンウェルぬまづ 10人 年間計画決定
	29日	会議サンウェルぬまづ 10人 講演会講師、依頼方法を検討、
	30日	講師(河崎佳子氏)に講演依頼メール
	7月4日	講演会日程候補メール 6日電話で開催日を相談、決定
	7日	会議サンウェルぬまづ 10人 講師・講演日 決定報告 チラシ内容検討
	8月18日	会議サンウェルぬまづ 10人 オンライン開催検討
	20日	講師にコロナ禍の開催について相談メール
	9月1日	会議 サンウェルぬまづ 11人 オンライン(zoom)決定報告 進行、流れを確認 オンライン環境を検討
	9月5日	サンウェルぬまづ 8人 講演会開催の為の事前学習(河崎佳子氏の研究内容やこめっこについて) 当日の担当決め
	7日	サンウェルぬまづ 3人 オンラインテスト
	13日	講演会「こめっこの立ち上げの経過と活動について」河崎佳子氏
	15日	会議サンウェルぬまづ 10人 講演会を聞いての感想、意見 今後の課題
	11月2日	会議サンウェルぬまづ 11人 大阪視察日程決定 視察の視点を協議
	6日7日	大阪府ろう乳幼児手話獲得支援事業「こめっこ」視察
	17日	会議サンウェルぬまづ 10人 大阪視察報告
12月15日	会議サンウェルぬまづ 9人 「大阪府手話言語条例シンポジウム」 参加の検討 チラシ内容検討 「沼津市民支援まちづくりファンド事業」申請について	
1月5日	「大阪府手話言語条例シンポジウム」第一部・第二部 日時・会場・内容・集合時間・担当・流れなど確認	
11日	「大阪府手話言語条例シンポジウム」 第一部 基調講演と話題提供	
23日	第二部 パネルディスカッション	
2月2日	会議サンウェルぬまづ 10人 自己資金について	
6日	大阪「こめっこ」リアルタイム配信を視聴 自宅 5人 視聴後 感想・質問を「こめっこ」報告	

事業効果	<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>講演会・学習会を3回、会議・研修会を12回開催した。講演会では、沼津聴覚障害者の会、手話サークル若葉友の会、保健師・保育士の44人が参加した。大阪の「ろう乳幼児手話獲得支援事業」に立ち上げから関わりを持つ神戸大学大学院の河崎佳子氏に「こめっこの立ち上げの経過と活動について」講演をして頂き、参加者からは、ぜひ沼津にもこの事業の実現を目指したいという声が沸き上がり、必要性の理解が得られた。この関わりからシンポジウム参加の招待を受け学習会を2回開催することができた。1回目32人、2回目25人の参加者があった。「こめっこ」の活動をそれぞれの専門の立場で研究し、成果を検証し実証する内容であり事業の理念の深さを知ることができ、沼津でもこの事業開催を必ず実現したいと参加者全員が強く感じた。</p>
自己評価	<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>コロナ禍であったが、講演会・学習会3回、会議・研修会12回開催できた。それぞれアンケートを取り参加者の意見を聞き、事業を進める上で参考にすることができた。河崎佳子教授の講演はコロナ感染拡大のため開催が危ぶまれたが、教授と話し合いオンライン(Zoom)で開催することができた。この開催でネットワークができ、大学教授がつくる研究機関とつながりができたことは、これから事業を進める上で大きな成果であった。これがすでに事業を行っている大阪の視察につながり、シンポジウムの招待、参加につながり、更に「こめっこ」リアルタイム配信視聴にもつながり、事業開催に向けての支援体制ができた。視察をすることで、事業の運営方法・内容・環境づくり・相談支援・乳幼児との関わり方の手法を学ぶことができた。</p>
今後の活動予定	<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>すでに事業を行っている大阪の視察を継続する。大阪に行き実際の活動を視察したり、ネットワークを活用して「こめっこ」活動のリアルタイム配信に参加したりし、活動内容、タイムスケジュール、ネイティブろう者のろう乳幼児との関わり方、スタッフの担当などを視聴し具体的な内容を検討し作成していく。ろう乳幼児や両親に関わるアドバイザー、保健師・保育士の役割を明確にする。令和4年度沼津での事業スタートを目指す。</p>

《 第1回 会議 》 6月18日（日） サンウェルぬまづ



《 第1回学習会（講演会） 》 9月13日（日） サンウェルぬまづ



【議題（内容）】

★ 第1部 ★ 参加人数 44名
講師 神戸大学大学院教授/大阪府手話言語
条例評価部会長 河崎佳子氏

テーマ

★ 第2部 ★ 参加人数 11名
懇談会

《大阪府乳幼児気手話言語獲得支援事業「こめっこ」視察》

11月6日(金)～7日(土)

大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター

*1日目 Baby こめっこ視察

*2日目 こめっこ・もあこめっこ視察



《 第2回 学習会 》

* 大阪府手話言語条例シンポジウム（第1部）オンライン参加 参加者 36名

1月11日（月） サンウェルぬまづ



* 大阪府手話言語条例シンポジウム（第2部）オンライン参加 参加者 24名

1月23日（月） 第三地区センター

